

各指標用語	
経常収支比率 (けいじょうしゅうしひりつ)	人件費、扶助費、公債費などの義務的経費や経常的に支出される物件費などに使われた一般財源の額が、市税、地方交付税、など経常的に収入される一般財源の総額占める割合を表した比率です。この比率が高くなると、臨時的経費に回せる資金が少なくなるため、財政が硬直していると言われます。
健全化判断比率 (けんぜんかはんだんひりつ)	実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率の4つからなる、財政状況を判断する比率です。
実質赤字比率 (じっしつあかじひりつ)	稚内市の場合、一般会計の赤字割合を示す比率です。
連結実質赤字比率 (れんけつじっしつあかじひりつ)	一般会計に加え、特別会計、公営企業の会計をすべて含めた場合の赤字割合を示す比率です。
実質公債費比率 (じっしつこうさいひりつ)	市の借入金(地方債)の返済額及びこれに準じる経費の大きさを示す比率です。
将来負担比率 (しょうらいふたんひりつ)	借入金のほか、退職手当、第三セクターへの損失補償など、市が将来支払う可能性のある負担額を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す比率です。
資金不足比率 (しきんぶそくひりつ)	市の公営企業に資金不足が生じていないか(赤字となっていないか)をみる比率です。